

令和元年度 第2回

茨木市都市計画審議会常務委員会
(都市計画マスタープラン中間見直し)

— 会 議 録 —

会 議 録

(敬称略)

会議の名称	令和元年度第2回茨木市都市計画審議会常務委員会 (都市計画マスタープラン中間見直し)
開催日時	令和元年10月9日(水) 午前9時30分開会・午前11時15分閉会
開催場所	市役所本館4階 理事者控室
会 長	澤木 昌典
出席者	〔 委 員 〕 澤木 昌典、吉田 友彦、神吉 紀世子、藤里 純子、 栗尾 尚孝 <以上学識経験者> 長井 順一 <以上関係行政機関の職員> 平田 義行、中尾 希 <以上市民> 〔 専 門 委 員 〕 紅谷 昇平、加我 宏之 (以上、計10名)
欠席者	秋山 孝正、鈴木 依子
事務局	井上副市長、福井都市整備部次長兼都市政策課長、砂金都市政策課参事、 杉浦都市政策課計画係長
議題(案件)	・都市計画マスタープラン中間見直しについて
傍聴者	0名

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	ただいまから令和元年度第2回茨木市都市計画審議会常務委員会を開会する。開会にあたり、井上副市長からあいさつを申し上げる。
井上副市長	(あいさつ)
事務局	本日の出席状況であるが、委員総数は12名のところ、現在の出席者は9名となっており、半数以上の出席をいただいているので本日の常務委員会は成立している。なお、秋山委員、鈴木委員からは欠席、平田委員からは遅参のご連絡をいただいている。事務局からは以上である。それでは、ここからの議事進行を澤木会長にお願いします。
澤木会長	それでは、議事を進行したい。前回の常務委員会では、施策の中間見直しの完成版を2つの冊子とすることに対し、見づらさや策定当時の思いが抜け落ちることへの懸念、また、取り組みの進捗確認資料を示してほしい、などのご意見があった。それらを踏まえて、事務局と私で調整し作成いただいた。なお、本日の議論をもって、常務委員会としての最終案をとりまとめ、11月に開催する都市計画審議会に提案することとなる。それでは、事務局より議題について説明を求める。
事務局	(事務局説明)
澤木会長	事務局からの説明は以上である。それでは、何か質問や意見があればお願いします。
神吉委員	45ページの「低未利用地の発生（都市のスポンジ化）」について、茨木市においては、まだ顕著ではない。それは、これまで市街化区域を過度に拡大しないこと、北部地域でのまちづくりや超高層住宅の立地を限定することなどの取り組みの成果であると考えます。そうしたスポンジ化しないための取り組みを踏まえた表現にした方がよいのではないかと。
事務局	ご指摘を踏まえて、検討する。
澤木会長	「低未利用地の発生」という表現が茨木市にとって適切かも含めて検討されたい。
神吉委員	都市構造図へ立地適正化計画の居住誘導区域を載せることはできないかと。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	区域が少し複雑であり、都市構造図が見辛くなる恐れがある。都市構造図とは別に掲載するなどを検討する。
藤里委員	都市のスポンジ化という言葉は、一般的な表現には至っておらず、市民にとって分かりづらい印象を受ける。さらに、茨木市の状況は当てはまらないという表現であれば、これまで取り組んできたことに対する施策評価とつながると思う。
事務局	都市のスポンジ化という表現について、改める方向で検討する。
栗尾委員	まちづくり会社について、もう少し触れておいた方がよいのではないか。
事務局	まちづくり会社については、現在策定中の「中心市街地活性化基本計画」において、その詳細を記載しており、都市計画マスタープランにおいては、62、63ページにおいて、まちづくり会社が担う役割や今後の事業展開について記載している。
澤木会長	中心市街地活性化基本計画の策定について記載した方がよいのではないか。
事務局	記載する方向で、検討する。
神吉委員	15ページと16ページの「④社会情勢の変化」において、いくつか項目があるが、茨木市に関係が深いものと全国的なものの順番を整理した方が読み易いのではないか。また、先ほどの中心市街地の話など、すでに取り組んでいる内容については、もう少し記載してもよいのではないか。
事務局	ご指摘を踏まえて、検討する。
長井委員	参考資料2の位置付けについて教えて欲しい。また、43ページにおいて、「都市計画道路茨木寝屋川線をはじめとした」という表現があるが、固有名詞を挙げる必要があるか。
事務局	参考資料2は、検討用資料であり公表する予定はない。茨木寝屋川線については、事業主体は大阪府であるが、本市の都市構造において重要である環状道路を構成する未整備路線であるため、整備に向けて取り組

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	む姿勢を示すものである。
長井委員	51ページにおいて避難路の整備とあるが、無電柱化に向けた取り組みを記載しないか。例えば、防災拠点と広域幹線道路をつなぐ道路を無電柱化するなどの取り組みは検討されているか。
事務局	現在、大阪北部地震の検証を行っているところであり、それを踏まえて、地域防災計画の見直しを進めていることから、検討状況等について担当課と調整していく。
平田委員	病院について、特に広域に対応する総合的な医療施設が重要であると考えており、都市計画マスタープランに記載する必要はないか。
事務局	都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を定めるものであるため、医療政策について記載することは考えていないが、いただいたご意見は担当課に申し伝える。
加我委員	12ページ「⑥地球温暖化等、環境問題の深刻化」とあるが、ここで触れられている内容は、エネルギー問題が中心となっている。後の都市づくりプランや都市構造を考える前段として、自然環境の視点を追記できないか。
事務局	現行の都市計画マスタープランの部分であり、基本的には修正する考えはないが、ご指摘を踏まえ、検討する。
加我委員	54ページ「利用ニーズに応じた特徴的な公園の適正配置」のところで、2つめの、「～遊具のある公園など、それぞれの公園～」を「～遊具のある公園など、地域の実情に合わせ、それぞれの公園～」とした方が、理由がより明確になるのではないか。 また、同ページ下から2つ目の彩都地区について言及があるが、住宅系の土地利用を行っている彩都西部地区としたほうがよいのではないか。 最後に55ページ、「元茨木川緑地の「市の誇れる財産」としての魅力向上」について、「～あることを念頭に、」とあるが、「～あることから、」とした方がよいのではないか。
事務局	2点の文言修正は、ご指摘を踏まえ、修正する。彩都については、彩都地区計画が、西部、中部及び東部を含めたものであるため、こうした

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	表現としているが、該当箇所の施策展開方針は、「良好な環境の住宅地形成」であることから、西部地区が対象であるので、表現を修正する。
神吉委員	彩都地区計画は、土地利用方針の転換を踏まえ、変更が必要なのか。
事務局	彩都地区計画は、彩都西部、中部、東部全体を地区計画の区域としており、東部地区においては、事業の進捗に合わせて、地区整備計画を定める必要がある。
紅谷委員	防災に関して、今年度、大阪北部地震の検証を行っている最中であると聞き、今回の中間見直しにおいて、最新の知見が記載できないことは残念である。
澤木会長	地域防災計画が見直された際には、それを踏まえて都市計画マスタープランを見直す、などと記載することはできないか。地域強靱化計画の策定予定は無いのか。
事務局	現在のところ、予定は無いと聞いている。
紅谷委員	気候変動適応法について、都市では特に熱中症への対応として、街路樹の整備などが注目されているため、都市計画マスタープランにおいて反映することも今後検討されたい。
神吉委員	49ページにおいて、地域防災計画は見直しに向けた取り組み中であることを記載してはどうか。
澤木会長	今回の中間見直しは、令和2年3月改訂予定であり、その時点では昨年度の災害の検証は完了している見込みであるため、それを踏まえた表現としてはどうか。
事務局	ご指摘を踏まえて、検討する。
吉田委員	14ページの立命館大学の開学は、平成27(2015)年ではないか。また、開学という言葉は施設の立地と考えると違和感がある。また、大学が知的資源等として位置づけられているが、大学周辺の賑わいにまで至っていない印象を受ける。大学を核として、周辺に賑わいが波及するような議論はできないか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
澤木会長	<p>市民の意見を踏まえて、継続的に検討されたい。その他、ご意見やご質問等ないか。</p> <p>(意見や質問等なし)</p>
澤木会長	<p>今回の指摘や議論を踏まえて、次回の都市計画審議会へ報告する運びと聞いており、修正等の対応について事務局と調整の上、最終的には私が確認したいと考えている。専門委員におかれては、本日がご出席いただく最後の機会であるが、引き続き事務局から相談等あれば、ご対応のほど、よろしくお願ひしたい。本日は、これで終了としたい。それでは、進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>今後の日程について、ご連絡申し上げます。次回は、11月11日に第3回茨木市都市計画審議会の開催を予定している。おって、開催通知等を送付させていただくので、よろしくお願ひする。また、本日で都市計画マスタープランに係る常務委員会は最後となる。専門委員の方々には、専門的な立場からご意見、ご指摘を賜わり、感謝申し上げます。事務局からの報告は以上である。</p> <p style="text-align: right;">(午前11時15分閉会)</p>